

栗原町政  
3期目への  
決意

より良い町の実現に、全力を傾注

11月6日に行われた町長選挙で当選をした、栗原実町長。さらなる飛躍を目指し、町政推進のかじを取る栗原実町長の3期目への決意をお知らせします。

2期8年を振り返って

平成20年11月、身の引き締まる思いで就任させていただきました。「現実直視・生活重視」のスローガンのもと、嘘なし、私利私欲なし、自己犠牲を惜しまず約束を守るの精神で努めさせていただきました。結果としてハード面、ソフト面で、町民の皆様の協力と職員一人ひとりの努力のお陰で公約もほぼ達成することが出来ました。

ハード面では25年来の地元要望であり南地区の悲願であった八間樋橋の開通や、小中学校の耐震化及びエアコン導入・洋式トイレ化、中学校体育館の改修と南面グラウンドの整備、生活道路50本以上の拡幅舗装、一市五町による館林厚生病院の建て替え、一市二町のごみ処理、三市五町の水道企業団の発足、その他と多面にわたって実現出来ま

した。

ソフト面におきましても中学三年生までの医療費無料化を始めとし、保育料二人目半額、三人目無料化、0歳児紙おむつ助成、検診ワンコイン化、予防接種助成、介護慰労金増額、バスポート役場発行、各種相談事業の拡充等々、挙げれば相当項目に至る事業の新設改善を実施することが出来ました。そして、ニュータウン事業も企業誘致につきま

しては順調に進んでおり、住宅販売、商業誘致については県企業局と連携を図りながら努力を重ねてまいりました。働く場の確保、町の活性化、財政基盤の拡充等、その期待される効果はもろろんのことですので、関係部署一丸となつて対応してきました。最重要項目でありましたそれらを踏まえながら借金残高11億円の減、貯金残高5億円の増と財政の改善も図ることが出

来ましたので、いよいよ長年来当町の悲願であった庁舎建設にも着手させて頂きました。

順調に計画も進み入札も町民の皆様に有利な結果で喜んだ矢先の議会の否決について、町民の皆様の大多数が強く不信の意を示している中、タイムリーに行われた選挙結果を踏まえ良識ある議員各位の町民重視の判断をいただけたものと思っております。

3期目就任にあたって

11月6日の町長選挙におきましては、町民の皆様のご理解をいただき思わぬ票差で3期目の当選をさせていただきました。新人からの争点は「これで良いのか合併問題・庁舎建設」でしたが、合併は決まっていないこと。議会の8対3の賛成を得て協議会の場が設置され、合併する・しないの判断材料となる協議結果に向けて二回目の協議が始まったばかりであること。決定は両自治体の議会が決定すること。町長の独断は法律上、あり得ないこと等を訴え、庁舎建設については合併してもしなくても現規模で良いこと。空きスペースが出来ても有効利用が出来ること。ここまで全体で議論して入札まで了解したものを凍結状態にすることによる町民の損失・負担増の上限が読めないこと。反対派の具体的縮小案もそのことに関する手順も全く示されないこと等を訴えての選挙結果であり、民主主義直近の民意は「これで良いのか合併問題・庁舎建設」に対し「これで良いのだ合併問題・庁舎

建設」と判断結果が出たものと考えております。

庁舎建設と合併を推進

従つて、一刻も早く庁舎建設を進め、合併問題については協議会での話し合いは町民の幸せ第一の立場で真剣に議論を進め、一回一回の協議内容をしっかりと「協議会だより」を通して報告します。また要所で説明会を開催し成案を得た後、町民の皆様を代表する両議会で決定するという法の仕組み通り進んでいくものと思えます。住民投票等については必要と思うならば、議員一人での発議で出来ずし、一般町民の場合でも50分の1、約300人弱の署名で行うことが出来ますので、必要と思う方は是非行動を起こしていただきたいと思えます。

今回の選挙をおして具体性・実現性のある政策かどうかも含め、町民の皆様の成熟した判断視線は極めて高く厳しいもの、そして信頼できるものと確信をいたしているところであります。この上は更に約束したことの実現はもちろん、より良い町の実現に全力を傾注してまいる所存であ

りますので今まで以上のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

少子高齢化の時代に

具体的には全国例外なく少子高齢化、右肩下がりの時代という認識をしっかりと持ち、若い父親母親の皆さんの負担軽減を目的に小中学校給食費の無料化の実現、そして関連する子育て支援策の充実、企業・商業施設の誘致を更に進め、利便性の向上・働く場の充実に努めます。6次産業化も町内企業との連携のもと、大規模ハウス団地の建設も始まろうとしており、同じく地元企業による露地野菜の作付けも開始されています。東洋大との連携も深めながら、町民皆様の健康長寿に対しても引き続き政策展開してまいります。医療・福祉・介護に付きましても地域連携を進め、地域間格差のないよう充実させてまいりたいと思えます。

最後に一市二町広域ごみ処理施設が完成に向かっており、来春4月の本格始動に備え、新年1月早々より試験焼却が始まります。従来の資源化方式から焼却方式に変更するの

に伴い、対応する説明会や説明文書の配布もありますので宜しく願います。

また、このことと連動して必要のなくなる資源化センターの再利用につきましても、町民体育館や運動公園等、センター地区計画も同時検討していきたいと思えます。

課題解決に全力投球

結びに、夢は必要ですが現実性のない夢はまぼろしであり「嘘に近い」と思っています。一つ一つ実現出来るような夢を現実にするのが、4年という任期で町政を任せられた町長の責任ですし、町長は手品師ではありません。一つ一つ皆様の御理解と御協力を得ながら、課題解決に全力投球することをお約束申し上げます。暮れに向かつて多忙になる中、また、寒さも日一日と厳しさを感ずるこの頃、健康に留意され元気にお過ごしいただくことを祈念いたしまして御挨拶いたします。

板倉町長  
栗原実